

常温型クラックシール材

FA シール(Flexible Asphalt)

昭和瀝青工業株式会社

概要

FA シールは特殊改質アスファルトを乳化した主剤と特殊樹脂を使用した硬化剤、硬化時間を調整する遅延剤の3種類の液体を混合して使用する、常温タイプのクラックシール材です。アスファルト舗装に生じるひび割れおよびコンクリート舗装の目地やクラックの充填材として使用できます。

特徴

- 常温で使用するため、加熱装置などを必要としないので安全かつ容易に施工できます。
- 浸透性に優れるため、ヘアクラック等細かいひび割れによく浸透し、封かんします。
- 硬化物は弾性に優れており、ひび割れや目地の動きに追随します。
- アスファルト乳剤を使用しているため、アスファルト舗装との接着性も良く、高い遮水効果を発揮します。
- 作業時間を長く確保したい場合や、交通開放を早めたい場合など、遅延剤量を調整することで対応可能です。

用途

- アスファルト舗装の目地充填やひび割れ補修
- コンクリート舗装の目地充填やひび割れ補修

荷姿

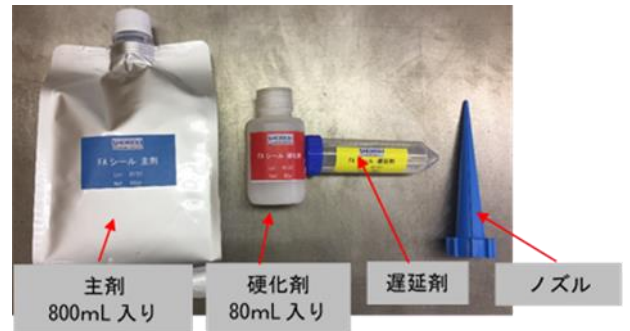
- 主剤 : 800mL/セット
- 硬化剤 : 80mL/セット
- 遅延剤 : 30mL/セット (気温に応じて量を調整)
- 一式 (主剤・硬化剤・遅延剤) 10セット/1箱

施工手順

- ①主剤容器に遅延剤 (添加量は表参照、10分を目安) を容器の目盛を見ながら必要量入れ、軽く振る。
- ②主剤容器に硬化剤を入れ、30秒程度振る。(硬化剤と遅延剤の順番に注意する)
- ③主剤容器にノズルを取り付ける。
- ④ひび割れに沿ってクラックシール剤を注入する。

取扱上の注意事項

- 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- 硬化剤は溶剤を含んでいるので火気に十分注意すること。
- 直射日光の当たらない屋内に保管すること。
- 成分の詳細については、製品データシート (SDS) を確認すること。



FA シールのパッケージング



注入状況



注入後の状況

FA シールの物性

	試験項目	試験方法	代表性状
主剤 硬化前	回転粘度 (25°C) mPa・s	舗装調査・試験法便覧A052	120
	ふるい残留分 (1.18mm) %	JIS K 2208	0
	平均粒子径 μm	独自試験	4
	蒸発残留分 %	JIS K 2208	62
	貯蔵安定度 (24hr) %	JIS K 2208	0.4
混合物 硬化後	円錐針入度 (25°C) 1/10mm	舗装調査・試験法便覧 A102	82
	軟化点 °C	JIS K 2207	120以上
	フロース脆化点 °C	舗装調査・試験法便覧 A053	-20以下
	曲げ仕事量 (-20°C) ×10 ⁻³ MPa	舗装調査・試験法便覧A063T	411
	曲げスティフネス (-20°C) MPa	舗装調査・試験法便覧A063T	20

遅延剤量の目安 (可使時間: 約10分)

材料温度	5°C	15°C	25°C	35°C
遅延剤添加量	5g	8g	10g	15g